

いま、能登半島地震に対して学生は何を思い、考えるか？

いま、能登半島地震に対して学生は何ができるでしょうか？能登半島地震から半年以上経ちましたが、被災地では未だ今後の展望が見えない状況です。この状況を懸念している学生は少なくないはず。けれども能登への距離や交通の便、宿泊地の不足、現地からの情報の少なさなどが大きな壁となり、実際に行動を起こすことが容易ではないかもしれせん。そこで、まずは被災地の実態について知りましょう。能登半島についてのリサーチを学生が行い、すでに能登に対して何らかの活動をしている方々とともに、東京の建築会館で展示を行います。また展示の内容を参考にしながら、能登半島に対して学生ができることを考えるワークショップを開催するなど、東京で能登の情報を発信する場をつくりたい。そして展示やワークショップの内容をアーカイブ冊子にまとめ、多くの人に能登の現状を届けたい。どなたでもご参加頂きますので、現在の能登半島について、何ができるか一緒に考えてみませんか？

学生ワークショップ 2024

10.19(土)-10.20(日)

時間 | 1日目 (09:00 - 19:00)  
2日目 (09:00 - 20:00)

場所 | 建築会館ホール / オンライン中継

【シンポジウム】

小野田泰明 (東北大学教授)  
小津誠一 (ENN 代表)  
窪田亜矢 (東北大学教授)  
司会: 松田達 (静岡文化芸術大学准教授)

【クリティーク】

小野田泰明 (東北大学教授)  
竹内申一 (金沢工業大学教授)  
窪田亜矢 (東北大学教授)  
山岸綾 (中部大学准教授 / サイクル・アーキテクト)  
岡田翔太郎 (岡田翔太郎建築デザイン事務所)

【参加学生エントリー期間】

2024年9月9日(月)-10月6日(日)

「いま、能登半島地震に対して  
何を思い、考えるか？」展

日程 | 10月19日(土)-10月21日(月)  
時間 | 09:00 - 17:00  
場所 | 建築博物館ギャラリー

【出展者】

GAPPA noto, kyma, VUILD、岡田翔太郎、北川啓介+北川珠美、小浦久子+片桐由希子、小津誠一、東京大学都市工学科、東北大学都市デザイン研究室、ニシムラ精密地形模型、萩野紀一郎、坂茂建築設計+ボランタリー・アーキテクト・ネットワーク、山岸綾 (以上、アルファベット、五十音順)、学生ワークショップ 2024 実行委員

特設 HP

詳しくは、特設 HP より  
<https://www.archigakusei-ws2024.com>



建築文化週間 2024

主催: 日本建築学会、後援: 日本建設業連合会、日本建築家協会、日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会、協賛: 大林組、鹿島、清水建設、大成建設、竹中工務店、梓設計、久米設計、佐藤総合計画、三晃金属工業、東京メトロ、日建設計、日本設計、三菱地所設計、山下設計、NIT ファシリティアーズ

学生ワークショップ 2024

後援: 石川県

特別協賛/協賛: 建築資料研究社 / 日建学院、キャリア・ナビゲーション、ヒラテ技研、総合資格 / 総合資格学院、Vectorworks Japan

建築資料研究社 | 日建学院 | 総合資格学院

hirate  
株式会社ヒラテ技研

コンキャリア

総合資格学院  
教育ライセンスを無償提供中!!  
VECTORWORKS



## いま、能登半島地震に対して学生は何を思い、考えるか？

What do students think about the 2024 Noto Peninsula Earthquake now?

- 概要**
- ワークショップ (日程: 10月19日 - 10月20日 場所: 建築会館ホール)
  - 関連企画展示 (日程: 10月19日 - 10月21日 場所: 建築博物館ギャラリー)
  - アーカイブ冊子 (日程: 2024年度中発行予定)

能登半島地震について考えるため、本イベントは大きく3つのかたちでのアウトプットを行います。1. ワークショップでは、シンポジウムでの議論も踏まえ、参加学生が講師からヒントを得てチームごとに能登への関わり方を模索します。2. 関連企画展示は、すでに能登の調査や復興に携わられている方々に活動を展示して頂くとともに、実行委員学生も能登について地域ごとのリサーチ結果を展示します。3. これらの成果をまとめて、一冊のアーカイブ冊子を制作し、より多くの人に能登の状況を知ってもらうことを目指します。

## 1. ワークショップ

「わたしたち学生は、能登半島地震とどのように関われるのか？」

遠方で起きた震災に対し、建築や都市を学ぶわたしたち学生はどのように関われるのでしょうか？ まず被災地の歩みと現状、復興への取り組みに関して、展示やシンポジウムを通して知りましょう。そして仲間との議論や発表を通じて、感じたことを共有するなかで、被災地の復興を自分事として捉え、現地にとって価値のある提案を考えます。

## 当日スケジュール

2024年10月19日(土) 9:00-19:30

時間	内容
09:00-09:30	開場・受付
09:30-10:00	開会の挨拶・趣旨説明
10:00-10:15	グループ分け
10:15-12:00	グループセッション①
12:00-13:00	昼休憩
13:00-15:00	シンポジウム
15:15-17:45	グループセッション②
17:45-19:00	中間発表、コメント
19:00-19:30	片付け・撤収

20日(日) 9:00-20:30

時間	内容
09:00-09:30	開場・受付
09:30-12:30	グループセッション③
12:30-13:30	昼休憩
13:30-17:30	最終案プレゼンテーション・講評
17:30-18:15	表彰式・総評・閉会
18:15-18:30	懇親会準備
18:30-20:00	懇親会(会場内)
20:00-20:30	片付け・撤収

## 1日目 シンポジウム・中間講評

小野田泰明 (東北大学教授)  
小津誠一 (ENN 代表)  
窪田亜矢 (東北大学教授)  
司会: 松田達 (静岡文化芸術大学准教授)

## 2日目 WS エスキス・講評会

小野田泰明 (東北大学教授)  
竹内申一 (金沢工業大学教授)  
窪田亜矢 (東北大学教授)  
山岸綾 (中部大学准教授 / サイクル・アーキテクト)  
岡田翔太郎 (岡田翔太郎建築デザイン事務所)

会場 建築会館ホール / オンライン  
〒108-8414 東京都港区芝 5-26-20



JR 町駅、地下駅三田駅  
より徒歩3分

## グループセッション

- 1日目午前: 関連企画展示を見て感じたことを学生間で共有
- 1日目午後: シンポジウムを経て学生が何ができるかを議論
- 2日目午前: 最終講評に向けてプレゼンテーションを作成

## 制作物

学生同士で議論し、能登の復興に向けた案を提案物にまとめます。  
最終講評はスライド形式の発表となります。

## 賞

2日目の講評会で各クリティックによるアワードが決定されます。

## 2. 関連企画展示

「いま、能登半島地震に対して何を思い、考えるか？」展

能登半島の復興に様々なかたちで携わっている方々の活動を東京で展示することで、より多くの人たちに能登の現在を知ってもらいたいと考えています。実行委員による現地のリサーチ活動の展示も行います。どなたでもご覧いただけますので是非お越しください。

## 会場

建築博物館ギャラリー 〒108-8414 東京都港区芝 5-26-20

## 展示日時

2024年10月19日(土) - 10月21日(月) 09:00~17:00

## 出展者

GAPPA noto (北陸建築学生仮設住宅環境支援プロジェクト)、株式会社 kyma、VUILD 株式会社、岡田翔太郎建築デザイン事務所、北川啓介 (名古屋工業大学大学院教授) + 北川珠美 (名古屋工業大学研究員)、小浦久子 (奈良文化財研究所) + 片桐由希子 (金沢工業大学)、小津誠一 (ENN 代表取締役)、東京大学都市工学科、東北大学都市デザイン研究室、ニシムラ精密地形模型、萩野紀一郎 (萩野アトリエ)、坂茂建築設計 + NPO 法人ボランティア・アーキテクト・ネットワーク (VAN)、山岸綾 (中部大学准教授 / サイクル・アーキテクト代表)、(以上、アルファベット、五十音順)、学生ワークショップ 2024 実行委員

## 3. アーカイブ冊子

「未来へつなげる、現時点でのアーカイブ」

本企画を一過性のイベントでは終わらせないために、その過程と成果をまとめ、復興のための手がかりとなるような冊子を制作します。会期終了後、ワークショップ参加者には冊子を配布する予定です。なお、参加学生の名前と所属はアーカイブ冊子にクレジット表記されます。

## 【参加方法】

下記の学生ワークショップ 2024 特設 HP (<https://www.archigakusei-ws2024.com>) よりお申し込みください。参加費は無料です。皆様のご参加をお待ちしております。

## 【対象】

参加: 能登半島地震に関心のある学生 観覧: どなたでもご覧いただけます

## 【エントリー期間】

受付開始: 2024年9月9日(月) 受付締切: 10月6日(日)

## 【問い合わせ先】

学生ワークショップ 2024 専用メールアドレス: [archi.gakusei.ws.2024@gmail.com](mailto:archi.gakusei.ws.2024@gmail.com)

## 【関連リンク】

学生ワークショップ 2024 特設 HP: <https://www.archigakusei-ws2024.com>

学生ワークショップ 2024 専用 X: <https://x.com/gakuseiws2024>

建築文化週間 2024 公式 HP: <https://bunka.aij.or.jp>

※オンライン中継は、特設 HP もしくは専用 X をご参照ください。

学生 WS 特設 HP



~参加はこちらから~

学生 WS 専用 X



建築文化週間公式 HP



## 注意事項

- 取得した個人情報、本ワークショップの運営以外には使用いたしません。
- 会場の様子が配信されることをあらかじめご了承のうえでご参加をお願いいたします。
- 参加者は、学生ワークショップの初日の中間発表、2日目の最終講評両方に参加していただきます。
- 昼食、会場までの往復にかかる交通費等、参加にかかる費用はご自身での負担になります。

## 建築文化週間 2024

主催: 日本建築学会  
後援: 日本建設業連合会、日本建築家協会、日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会  
協賛: 大林組、鹿島、清水建設、大成建設、竹中工務店、梓設計、久米設計、佐藤総合計画、三晃金属工業、東京メトロ、日建設計、日本設計、三菱地所設計、山下設計、NTT ファシリティーズ

## 学生ワークショップ 2024

後援: 石川県  
特別協賛/協賛: 建築資料研究社 / 日建学院、キャリア・ナビゲーション、ヒラテ技研、総合資格 / 総合資格学院、Vectonworks Japan

※上記の情報は現時点での決定事項であり、今後変更になる可能性がございます。変更内容については特設 HP にて随時お知らせいたします。

## 学生 WS2024 実行委員会

半田洋久 (代表 / 芝浦工業大学)、小堀涼雅・松尾結実子・安島芽生・福島はな (慶應義塾大学)、衣笠恭平 (横浜国立大学大学院)、福田理緒・飯島さら・田中恒暉・向井元基 (横浜国立大学)、花岡桃可 (東京大学大学院)、久富柊司 (東京大学)、小島智寿 (金沢工業大学大学院)、塩見悠一郎 (京都府立大学大学院)、征矢俊介・吉野仁輝 (東京電機大学)、千園桜子 (富山大学)、小泉満里奈・奥島万詠 (早稲田大学)、二渡杏・角尾風歌・山本承太郎 (芝浦工業大学)、中村来珠・山本洸生 (大同大学)、芝崎遼太 (大阪工業大学)、木下裕翔・猪股裕子 (近畿大学)、森田優希 (信州大学)、玉野亮祐 (東京都市大学)、田畑快人 (東京都立大学大学院)、加賀美和希 (東洋大学大学院)、樋上稜太 (東洋大学)、大貫陽向吾・森田真央 (京都工芸繊維大学)、吉葉清貴 (国士館大学) (計 35 名) (アドバイザー: 松田達)

表紙画像は能登、輪島朝市の様子  
撮影: 半田洋久 撮影日: 2024/05/18